

## 平成23年度

### 第1回五城目町地域公共交通協議会 会議録

#### 【会議の日時・場所】

日 時 平成23年6月23日（木）午後2時30分より  
場 所 五城目町役場 2階 正庁

#### 【協議案件等】

- 報告（1）馬場目地区・富津内地区での懇談会（3月開催）について  
報告（2）富津内地区デマンド型乗合タクシーの実証運行の実績について【まとめ】  
報告（3）乗合タクシー馬場目線の運行実績について【H22】  
報告（4）乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績（4～5月）について  
報告（5）平成22年度地域公共交通活性化・再生総合事業の事故繰越しについて  
・財務規程の改正について ・専決処分（第1号）について  
報告（6）その他
- 協議（1）専決処分（第1号）の承認を求めることについて  
・平成22年度五城目町地域公共交通協議会補正予算（第2号）  
協議（2）平成22年度五城目町地域公共交通協議会決算について  
～監査報告～  
協議（3）五城目町富津内地区デマンド型乗合タクシー実証運行実施要綱の廃止について  
協議（4）平成23年度五城目町地域公共交通協議会補正予算（第1号）について  
協議（5）【第2次】五城目町地域公共交通総合連携計画（素案）について  
協議（6）その他

#### 【出欠状況】

出席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	23名
欠席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	6名
監査委員	別紙「委員出欠表」のとおり	1名
事務局	別紙「委員出欠表」のとおり	5名

#### 【会議の内容・発言要旨】

午後2時30分開会

○ 事務局（嶋崎まちづくり課長）

定刻になりましたので始めたいと思いますが、その前に、人事異動等により事務局委員が代わっておりますので名簿で確認して下さるようお願いいたします。

それでは、只今から平成23年度 第1回五城目町地域公共交通協議会を開会いたします。開会に先立ち、武田会長が挨拶を申し上げます。

○ 武田会長

皆さまには、お忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。

この後、新しく委員になられた方々へ委嘱状の交付がありますが今後ともよろしくお願いたします。また、監査委員の本間さんには、町の監査が行われていてお忙しい中、よろしくお願いたします。

ところで、この度の東日本大震災時には、停電、断水等、皆様には大変ご不便をおかけしました。また、物資要請に応じてくださいましたことに対し厚くお礼申し上げます。現在被災地は、暑さもさることながら、家バエが大発生しており、トイレや台所に繁殖することで食中毒の感染に影響しているということで、大変心配しています。この震災は、様々なところに影響を与えておまして、資材の搬入の遅れ、農作業の遅れ、原発の風評被害等の影響で国債が下がり、株も下がりました。運用している年金等にも影響しております。また、協議会にも影響がありまして、このことは本日の協議の中で説明があると思います。

さて、秋田県の人口が108万人を割りました。65歳以上の高齢者が集落の人口の50%以上という限界集落も多くなっております。我が町は、75集落ありますが、9集落が限界集落ということです。その状況の中で、協議会では乗合タクシー馬場目線、富津内線をどうしていったらいいのか、協議していただいているところです。

昨年は、浅見内集落で県の援助を得て買い物支援事業を実施しました。これからも県の協力をお願いしたいと思います。

ところで、町の公共交通に関する総合計画である「連携計画」が9月末で3年間の計画期間を終了します。私としては、合格点に値すると思っておりますが、今後また、どのようにしていくか、第2次連携計画について十分協議していただきたいと思っております。

○ 事務局（嶋崎まちづくり課長）

続きまして、この度、人事異動等や代表者の変更にともないまして、新たに委員となります方々へ委嘱状を交付したいと思います。委嘱状は、町長に代わりまして副町長が交付いたします。なお、時間の都合により、委員を代表して1名の方に直接交付し、他の委員の皆様には、お手元の資料に同封させていただいておりますので、ご了承ください。

それでは、代表して湖東総合病院事務長 高橋様、よろしくお願いたします。副町長、お願いたします。

○ 副町長

（委嘱状を朗読、委員 湖東総合病院事務長 高橋敬司氏に交付する）

○ 事務局（嶋崎まちづくり課長）

これ以降の会議の進行は、規約により会長よりお願いします。

○ 武田会長

では議事に入らせていただきます。議事に入る前に会議録署名員を選任いたします。どのように取り計らったらよろしいでしょうか。

○ 委員全員

（会長一任）

○ 武田会長

会長一任の発言がありましたので、私の方から指名させていただいてよろしいでしょうか。

○ 委員全員

（異議なし）

○ 武田会長

異議なしの声がありましたので、私の方から指名させていただきます。

本日の会議録署名員に、五城目町身体障害者協会 伊藤英紀委員と、五城目町社会福祉協議会 朝野暢稔委員の2名を指名いたします。

それでは、次第に従いまして進めていきたいと思えます。

まず、報告事項についてですが、事務局よりH22年度馬場目・富津内両地区で実施している乗合タクシー事業についての報告事項（1）～（3）について、関連がありますので一括して、ご報告よろしくお願ひいたします。

○ 事務局（大石）

会議の資料確認後、報告（1）馬場目地区・富津内地区での懇談会（3月開催）について報告（2）富津内地区デマンド型乗合タクシーの実証運行の実績について【まとめ】報告（3）乗合タクシー馬場目線の運行実績について【H22】を資料、スライドにより説明。

○ 武田会長

ありがとうございました。報告（1）～（3）についてご質問をいただきたいところですが、すべての報告の後、（6）その他でまとめてご質問、ご意見をいただきたいと考えますので、続けて報告をお願いします。

○ 事務局（大石）

リーフレットの紹介と4月から増設された拠点施設について報告した後、報告（4）乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績（4月～5月）について、報告（5）平成22年度

地域公共交通活性化・再生総合事業の事故繰越しについて、資料、スライドにより説明。

○ 武田会長

これまでの報告について、ご意見、ご質問を受付けます。

○ 委員全員

(質疑なし。)

○ 武田会長

無いようですが、このあと大きな協議内容がありますので、その中でまとめてご意見を聴きたいと思います。続きまして本日の協議に入ります。

協議（１）専決処分（第１号）の承認を求めることについて、事務局より説明願います。

○ 事務局（大石）

協議（１）について、資料により説明。

○ 武田会長

協議（１）については、報告事項の中でも詳しい説明がありましたが、只今の説明に対し、ご質問、ご意見を受け付けます。

○ 委員全員

(質疑なし。)

○ 武田会長

それでは、協議（１）専決処分（第１号）の承認を求めることについては、承認としてよろしいでしょうか。

○ 委員全員

(異議なし)

○ 武田会長

それでは、協議（１）については承認したものといたします。

次に、協議（２）平成２２年度五城目町地域公共交通協議会決算について、事務局より説明と、監査委員からの報告をお願いいたします。

○ 事務局（大石）

協議（２）について説明。

○ 本間監査委員

本間です。よろしくお願いします。

去る5月19日、私と会計管理者の伊藤さんと監査いたしました。報告いたします。

(監査報告書を読み上げる)

○ 武田会長

ありがとうございます。ここでご質問を賜ります。何か質問はありませんか。

○ 委員全員

(質疑なし)

○ 武田会長

無いようですので協議(2)について、承認としてよろしいでしょうか。

○ 委員全員

(異議なし)

○ 武田会長

では、協議(2)については承認したものといたします。

只今、3時30分です。ここで5分間休憩したいと思います。監査委員の本間さんは町の監査もありますのでここで退席となります。再開は3時35分からとします。

○ 武田会長

再開します。協議(3)五城目町富津内地区デマンド型乗合タクシー実証運行実施要綱の廃止について、事務局より説明願います。

○ 事務局(大石)

協議(3)について、資料により説明。

○ 武田会長

平成22年度で実証運行が終わったので関係要綱を廃止するという内容です。何かご意見ありませんか。

○ 委員全員

(質疑なし)

○ 武田会長

無いようですので、協議(3)について、承認としてよろしいでしょうか。

○ 委員全員  
(異議なし)

○ 武田会長

では、協議(3)については、承認したものといたします。

続いて協議(4)平成23年度五城目町地域公共交通協議会補正予算(第1号)について、事務局よりご説明願います。

○ 事務局(大石)

協議(4)について、資料により説明。

○ 武田会長

事故繰越しに伴う補正ではありますが、このことについて何かご質問はありませんか。

○ 委員全員  
(質疑なし)

○ 武田会長

それでは、協議(4)については、承認としてよろしいでしょうか。

○ 委員全員  
(異議なし)

○ 武田会長

協議(4)については、承認したものといたします。

続いて、協議(5)【第2次】五城目町地域公共交通総合連携計画(素案)について、事務局より説明願います。

○ 事務局(大石)

協議(5)について、資料により説明。

○ 武田会長

ありがとうございます。素案が提示されました。

このあと、どんな考え方で進めていったらよいかということなので、日頃考えていること、感じたこと、気づいたことをお話していただければと思います。

○ 草皆委員（馬場目地区町内会長会）

事務局の説明を伺いまして、大変な事業に取り組んでいるということを強く感じました。現状分析等、わかりやすく説明するなど、大変なエネルギーを使う事業だと感じました。これは本町だけの問題ではなく全国的に取り組んでいる問題だと思いますが全国の情報はどれくらい収集しているのでしょうか。共通点は何か、五城目町はオリジナルな取り組みをしていると聞いていますが独自性はどんなところか、そんなところも踏まえて今後の3年間の計画につなげていければいいと思います。

○ 事務局（大石）

全国の例の一つとして、長野県安曇野市でデマンド型が発達していて全県的に運行していると聞いています。面的に広がっている地域にデマンド型を敷いているようです。本町の地形は沢伝いに広がって集落があり、乗合タクシーを運行させておりますが、この乗合タクシー運行によって町のタクシー事業所では利用者が1割ぐらい減っております。事業者に与える影響を考えて本町では、面で広がる町内に関しては普通タクシーを利用させていただいて、沢伝いに広がる地域には乗合タクシーを利用してもらっているところが独自のかと考えています。

○ 高橋委員（秋田県建設交通部建設交通政策課 菅生委員代理）

県でも五城目町に限らず乗合タクシーを運行させている地域があります。生活バス、マイタウンバスは県の補助の対象になっておりますが、県の補助から外れたところもあります。H22年度に補助要綱の見直しをし、ある程度、公平にやっていますが、補助から外れたところについては、H23年度、更に意見をいただきながら見直しを行っているところです。ほどよく連携していきたいと思います。

○ 武田会長

全国的に、高齢者、交通弱者の方々の生活の足の確保ということで頑張っております。買い物、医療、生活の足をどうにかしようとして事例を出しております。今後、事務局からすばらしい事例を提示していただけたらと思います。

他に何かありませんか。

○ 齊藤委員（秋田中央交通株式会社）

連携計画の中で、当社として検討いただきたいのは、内川線と面潟線についてです。内川線については、平成22年度、県から250万円、町から300万円ほど補助をいただき、自社でも約220万円の赤字を負担して運行している路線です。この度の県の補助要綱改正でH23年度以降は県からは補助が出ません。検証していただきたいと思います。

面潟線については、現在、県から380万円の補助をいただき、自社150万円の赤字で走らせておりますが、乗車密度1.1でこれも乗車密度1を切ると補助対象にならないということで危惧しているところです。内川線、面潟線についてはじっくり考えていただいて、協議会でも検討していただくことでいい方向にもって行ってもらいたいと思います。

○ 武田会長

大変な負担を負って走ってもらっています。このことについては、時間を割いてじっくり話し合っていく必要があります。他に何かありませんか。

○ 伊藤委員（馬川地区町内会長会 舘岡委員代理）

私が住んでいるところも公共交通空白地域になっています。連携計画の中で、空白地域に関しては検討するということがありますが、3年間の間に検討するというのでしょうか。1人暮らしの方たちは通院も買い物もいちいちタクシーで動いている状況です。早急の対策をお願いします。

○ 大石（事務局）

伊藤委員の意見についてですが、連携計画（案）の資料9ページ、今後のタイムスケジュールを見ると、公共交通空白地域の解消については、H24年度までに解消していくことになっています。確認ですが、資料の7ページの4-5④生活交通のなかに公共交通空白地域の解消について説明されておりますが、H24年度までに進めていきたいということです。

○ 田口委員（五城目町PTA連合会 石井委員代理）

私たちの年代は、みんな車を運転して移動できるので、乗合タクシーの存在は知っていましたがあまり関心がなかったというのが本音です。

○ 伊藤委員（五城目町身体障害者協会）

この計画も含めすべてそうだが、最終的には誘客促進が最大の課題ではないでしょうか。イベント等にあわせてキャンペーン等をやっていますが誘客を図ることが一番ではないかと思えます。粗品を配布しているようですがそのことについて説明してください。

○ 大石（事務局）

馬場目線で乗合タクシーの運行を実施したときから、利用者が極端に少ない、土・日の町や朝市のイベントにあわせて粗品を配布して「乗ってください」と呼びかけています。昨年も予算が取れたので9回ほど実施しました。

町の行事や朝市行事に合わせたイベントに乗合タクシーを利用して来てくれた方に粗品を進呈するという利用促進キャンペーンの他、乗車券の半券が10枚たまれば粗品と交換するというキャンペーンも実施しました。馬場目線に関しては、キャンペーン日は実績が増えています。今後もいろいろ工夫しながら誘客に努めたいと考えております。

○ 伊藤委員（五城目町身体障害者協会）

がんばってください。



○ 松田委員（イオンパースセンター五城目店 大西委員代理）

店の立場からみると、費用対効果が厳しいのではないかと感じました。事業を広げすぎると大変ではないでしょうか。新たにという話がありましたが、タクシー事業者にしてみればタクシーを利用すれば補助金が出るなど可能かどうか聞いてみたいところです。

○ 土橋委員（株式会社あったか五城目）

2月に国交省の会議が仙台でありました。全国の事例として、花巻市で同じような会社がありました。五城目町と同じで高齢化が進んでいる地域でデマンドバスを運行している。デマンドバスの中に「押しかけ商店会」ということで商店会を入れてやっているという事例で興味があつて聞いてきました。

○ 一関委員（秋田中央トランスポート株式会社）

連携計画（案）の資料の中の字句について、8ページ（5）「なお、公的支援の継続については、より合理的で経費の掛からない・・・」のくだりが気になりました。

富津内地区での懇談会で回数券を求めたら手持ちがないからと、使った回数券を渡されたとあるが、これについて、事務局ではどのように指導したのでしょうか。

○ 大石（事務局）

字句については素案なので、今後整合性をとっていきたいと考えています。

懇談会での意見については、日々、直接利用者と関わっているのは事業者なので、事業者側に伝えて、質の高い運行をしていただきたい、としています。

○ 武田会長

字句の整合性については、今後も検討していきたいと思います。他にありませんか。

○ 佐藤委員（大川地区町内会長会）

感じたのは、5ページ課題（3）、6ページ4-4（4）の部分で、公共交通空白地域を中心市街地から1.5kmとしたことについては普通タクシーとの役割分担と捉えていますが、なぜ1.5kmなのか、まちづくりの視点から見たとき1.5kmが妥当なのか、他の町の事例等を見たとき必ず出てくると思うので、わが町として1.5kmというところを明確にしておいてもらいたいと思います。なお、この場での回答は不要です。

○ 武田会長

その他、これだけは話しておきたいということはありませんか。

○ 伊藤委員（五城目町身体障害者協会）

馬場目小学校も近々統合になると思います。スクールバス、一般のバス等、融合性を考えて子どもたちにも不便のない路線を考えて欲しいと思います。

○ 武田会長

会長ではありますが、副町長の立場としてもこれからの時代を担う子どもたちのことを考えていきたいと思っております。他にありませんか。

○ 委員全員

(質疑なし。)

○ 武田会長

それでは、協議（6）その他について、何かありませんか。

○ 委員全員

(特になし)

○ 武田会長

以上で、本日の協議は終了といたします。

今後の予定などの連絡がありましたら、事務局からお願いします。

○ 事務局（大石）

乗合タクシー富津内線については、4月から町が運行主体の本格運行を実施しています。拠点施設にはこれまで、のぼり旗を設置しておりましたが、恒久的な標識に変えたいことを以前から話しておりました。まもなく製作にかかります。でき次第設置するわけですが、馬場目、富津内両地区では、一部、県道、国道もあるので、設置に関し同時に申請していきたいので、道路管理者の方たちにはよろしく願いいたします。

バス路線については、中央交通（株）と相談をしているところです。今後、計画に反映させていかなければなりませんのでよろしく願いいたします。

次回の協議会開催は8月下旬を予定しています。連携計画が主な内容になると思います。ご案内いたしますのでよろしく願いいたします。

○ 武田会長

あるべき町の交通形態の姿を検討していただきたいと思います。委員のみなさんから、協議事項以外に、事務局に対し何かご意見、ご質問はありませんか。

○ 委員全員

(質疑なし)

○ 武田会長

以上をもちまして、平成23年度 第1回五城目町地域公共交通協議会を終了します。  
ありがとうございました。

午後4時40分閉会

会議録署名員

( 伊 藤 英 紀 )

伊藤英紀 

会議録署名員

( 朝 野 暢 稔 )

朝野暢稔 